

第70期

中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

名糖産業株式会社

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第70期中間期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの復旧により経済活動の停滞を脱し、さらに自粛ムードの緩和や節電・省エネ関連需要も伴って、景気回復局面にはいりました。しかし、欧州のソブリン・リスク問題を背景とした世界金融市場の動揺や米欧景気の減速など、世界経済の変調と円高により輸出環境が悪化し、さらに内需の伸び悩みも伴って、今後の景気回復力には不安を残しました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましても、安全・安心で高品質な商品の提供への取り組みが強く求められる一方で、原材料・エネルギーコストが上昇するなかで低価格競争が激化するなど、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、お客様のニーズにお応えできる高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活

動を進めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期に比べ0.5%減（下記のチョコレート商品および粉末飲料部門の取引価格変更分を考慮すると2.6%増）の9,626百万円となりました。（食品事業におきまして、取引価格の変更をファミリータイプのチョコレート商品につきましては昨年9月より、粉末飲料部門のガゼット袋タイプと大缶タイプの商品につきましては本年4月よりそれぞれ実施しております。そのため売上高および販売促進費が前年同期の基準で計算した場合よりも減少しております。）営業損益につきましては、事業活動の効率化やコストの削減を推し進めましたが、原材料価格の上昇および昨年稼動しました3工場の減価償却費の負担増などにより22百万円の営業損失となりました。前年同期は189百万円の営業利益でありました。また、経常利益は前年同期に比べ53.6%減の259百万円となり、四半期（中間）純利益につきましては、特別損失に投資有価証券評価損161百万円を計上しました結果、86.7%減の36百万円となりました。

事業分野別の動向は、次のとおりであります。

食品事業

当中間連結会計期間におきましては、主力の

菓子部門は前年同期に比べ減収ではありましたが、取引価格変更の影響を考慮すると、ほぼ前年同期並みとなりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や「ベストアソートチョコレート」などのファミリータイプの商品は堅調に推移しましたが、「ぷくぷくたい」をはじめとするエアインチョコレートの売上は減少しました。キャンディ類は、小袋商品など自社商品の売上は「粒塩飴」などが好評で増加しましたが、受託商品が低下し減収となりました。

粉末飲料部門は、主力の「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などラインアップされた基幹商品の拡販に取り組みました結果、前年同期と比べ減収となりましたものの、取引価格変更の影響を考慮すると、ほぼ前年同期並みとなりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、自社品、受託商品ともに苦戦を強いられ減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースベーカーは、昨年の新工場稼動に合わせて、新商品開発による商品の品揃えや販売促進活動を積極的に推進しました結果、主力のバウムクーヘン類やゼリー類の売上が大きく伸びて増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ0.4%減（チョコレート商品および粉末飲料部門の取引価格変更分を考慮すると3.2%増）の8,338百万円となりました。営業利益につきましては、原材料価格の上昇や昨年稼動しました新工場の減価償却費の増加などにより、前年同期に比べ67.7%減の142百万円となりました。

化成品事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、企業間競争が激化するなか、東京電力・福島第一原子力発電所の事故に伴う海外での風評被害や円高の影響を受けました。その厳しい環境下、脂肪分解酵素「リパーゼ」の売上は国内・海外市場の拡大に向けての精力的な提案・販売促進活動が功を奏し増加しましたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」は減収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料の「デキストラン」の売上が海外市場の開拓により増加し、さらに「デキストラン」の誘導体の売上也伸びて増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期とほぼ同水準の1,093百万円となり、昨年稼動しました2工場の減価償却費の負担や円高の影響を

受けながらも82百万円の営業利益となりました。
前年同期は17百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、連結子会社のプリンスゴルフ株式会社の収益の減少などにより、売上高は前年同期に比べ6.2%減の194百万円となり、営業利益は前年同期に比べ12.0%減の91百万円となりました。

このような状況下で、当社グループといたしましては企業価値のさらなる増大を目指し、お客様視点の商品開発、既存中核ブランドを軸とした商品戦略の強化ならびに積極的な営業活動に取り組み、強靱な企業体質の確立と収益力の向上に努めるとともに、引き続きコストの削減および品質管理の向上に邁進する所存であります。

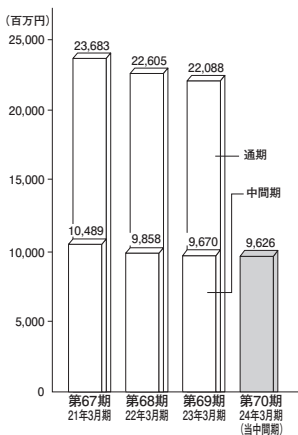
株主の皆様におかれましては、なお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

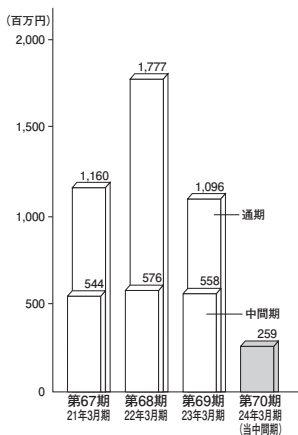
代表取締役社長 水谷 彰 宏

連結業績の推移

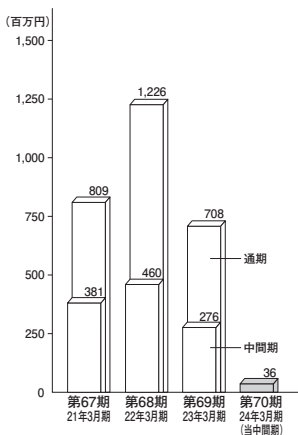
連結売上高



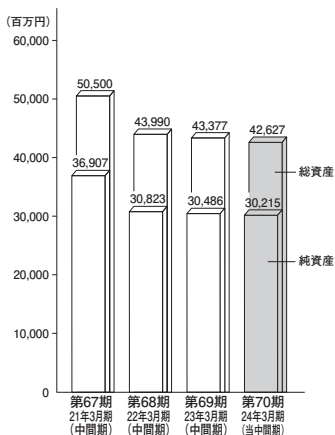
連結経常利益



連結純利益



連結総資産／連結純資産



(注) 連結子会社3社

株式会社エースバカー、名糖乳業株式会社、プリンスゴルフ株式会社
持分法適用会社1社
名糖アダムス株式会社

第2四半期(中間)連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (平成23年9月30日現在) (単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	8,251	流 動 負 債	4,957
現金及び預金	2,088	支払手形及び買掛金	2,350
受取手形及び売掛金	3,359	1年内返済予定の長期借入金	826
有 価 証 券	100	未 払 法 人 税 等	57
商 品 及 び 製 品	1,193	返 品 調 整 引 当 金	4
仕 掛 品	372	そ の 他	1,718
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	893	固 定 負 債	7,454
そ の 他	248	長 期 借 入 金	3,294
貸 倒 引 当 金	△6	繰 延 税 金 負 債	1,605
		退 職 給 付 引 当 金	2,095
		役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	16
		そ の 他	442
固 定 資 産	34,375	負 債 合 計	12,411
有形固定資産	13,691	(純 資 産 の 部)	
無形固定資産	92	株 主 資 本	26,463
投資その他の資産	20,591	資 本 金	1,313
投資有価証券	19,945	資 本 剰 余 金	76
そ の 他	714	利 益 剰 余 金	33,609
貸 倒 引 当 金	△68	自 己 株 式	△8,535
		そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	3,626
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	3,626
		新 株 予 約 権	124
資 産 合 計	42,627	純 資 産 合 計	30,215
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	42,627

四半期連結損益計算書 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで) (単位：百万円)

科 目	金 額
売 上 高	9,626
売 上 原 価	6,746
売 上 総 利 益	2,880
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,902
営 業 損 失	22
営 業 外 収 益	350
営 業 外 費 用	68
経 常 利 益	259
特 別 損 失	161
税金等調整前四半期純利益	97
法 人 税 等	60
少数株主損益調整前四半期純利益	36
四 半 期 純 利 益	36

(注) 1株当たり四半期純利益 2円19銭

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで) (単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,613
投資活動によるキャッシュ・フロー	△306
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△75
現金及び現金同等物の期首残高	1,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,755

会社の概要 (平成23年9月30日現在)

社名	名糖産業株式会社
本社所在地	名古屋市西区笹塚町二丁目41番地
設立	昭和20年2月
資本金	13億1,325万円
事業内容	食品・化成品の製造販売および不動産賃貸
従業員数	370名
主な事業所	支店 東京・名古屋・大阪・福岡 工場 名古屋・枇杷島・小牧・八王子・福岡
子会社	株式会社エースパーカー(愛知県小牧市) 名糖乳業株式会社(福岡県飯塚市) プリンスゴルフ株式会社(福岡県宮若市)

株式の状況 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	21,265,000株
株主数	8,267名

役員 (平成23年9月30日現在)

代表取締役社長	水谷彰宏
専務取締役	水野修
常務取締役	小島寛志
取締役	市川秀夫
取締役	加藤重昭
取締役	瀧川敦志
取締役	山下喜郎
常勤監査役	吉野俊彦
監査役	太田賢一
監査役	寺澤弘

- (注) 1. 取締役山下喜郎氏は、社外取締役であります。
2. 監査役太田賢一氏および寺澤弘氏は、社外監査役であります。

meitoは 暮らしの定番品です。

アルファベットチョコレート



おいしさこだわり

おかげさまで東京証券取引所上場 50 周年。
皆様に愛され続けるひとくちチョコの決定版!

しょうが紅茶 10P



体の中から 燃やします

はちみつを加えて
まろやかに仕上げた
しょうが紅茶です。
朝食代わりに1杯、
体を温めたいとき
にもおすすめです。
10袋入。

分 包
タイプ

株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 6月中
- 中間配当制度** 行っておりません。
- 公告の方法** 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告により公告をすることができない場合は、
日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告のホームページアドレス <http://www.meito-sangyo.co.jp>
- 上場証券取引所** 名古屋・東京
- 株主名簿管理人** 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先)** 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および
全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の
本店および全国各支店で行っております。

(お知らせ)

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に
口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口
座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■株主様ご優待

毎年9月末(中間期末)現在100株以上ご所有の株主様へ当社
または当社グループ商品の詰め合わせを年1回12月上旬に贈呈
させていただきます。

- 100株以上 1,000株未満 … 小売価格 1,500円相当商品
- 1,000株以上 5,000株未満 … 小売価格 3,000円相当商品
- 5,000株以上 ……………… 小売価格 5,000円相当商品

meito

名糖産業のホームページをご覧ください。

<http://www.meito-sangyo.co.jp>